

JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2023 11

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者/川嶋高志 発行年月/2023年11月



剣岳

INDEX

- 2..... 全国登山学校担当者交流会。登山学校での講習内容の課題と安全対策について
- 3..... 北海道勤労者山岳連盟 60 周年記念行事を終えて
- 4..... 部・局・委員会の活動
- 5..... 10月の事故一報一覧
- 6・7..... 10月の労山基金交付認定一覧
- 8..... 全国連盟からのお知らせ（栄誉功労章の受付、2024年カレンダー）

「剣尾根」

年末年始に剣岳の早月尾根を登るため、11月にトレーニングとして同ルートを登った。結局年末は大雪によるラッセルと強風に阻まれ、あえなく敗退した。今では11月に見た快晴の剣岳が、美しい景色として記憶に残っている。

（林弘幸・須磨勤労者山岳会/兵庫）

各地方連盟が主催する「登山学校」の講習内容の課題と安全対策

遭難対策部長 石川昌

5回目となる「登山学校交流会」は、7地方地区 23名の参加で開催された。北関東栃木県の古賀志山にての開催にも関わらず山口、岡山、愛知、長野からの参加があった。古賀志山は、宇都宮市郊外西北の丘陵地帯に位置し、その山容はゴジラの背中を思わせ、あたり一帯は岩山が多く、岩登りのゲレンデとして知られている。過去4回の交流会は、地方連盟での登山学校運営の課題や安全対策について、現状を把握する目的で行われた。

第1回は山梨県三ツ峠、第2回は三重県御在所岳、第3回は兵庫県雪彦山。第4回は京都府金毘羅山で開催された。1日目は「登山学校」の開催県連や今後に向けて開催を予定している参加者の交流・情報交換を主に進められ、2日目は開催地の岩場で、ロープワーク、システムの確認等の技術指導や交流を主体とした内容であった。

今回は、一日目に総合登山技術ハンドブックよりハイキングでの「ロープワーク」についての提案と討議を行い、続いて各地方の登山学校や講習会の現状、課題を話し合った。栃木県連でも年間4回のハイキングセミナーを開催しているが、定員割れでも開催しているとのことで今後の実施に課題を残している現状であるとの報告だった。二日目は、昨年古賀志山で発生した岩場訓練での滑落事故を検証することから始まった。当該会の会員が2名参加し現場への案内と事故



当日の経過説明を行ってもらった。その後、当時の状況と同様な講習内容で検証を進めた。「ロープがシュルシュルと音を立て跳ね上がる」「ロープ落下検証」「再現したシステム検証」再現作業中でも多くの意見が出ていた。10時過ぎに検証を終了後、参加者から意見、感想、指摘等の発言が多数寄せられた。当該会では、11月に再度事故者立ち合いの事故検証を実施するとの事であった。何が問題だったのか、なぜこの事故は起きたのか、今後どのように会は取り組むべきか。今、地方連盟・各会で開催している岩登り訓練や講習会の安全対策が不十分といえる事例が各地で発生している。また、指導方法にも格差があると感じている。当該会の問題とせず、講義に臨む地方連盟・各会(全国も含む)側の体勢・態度・考えから見直して行く必要がある。この検証から浮かび上がる大きな視野に立つての議論が必要と考えているからだ。

『総合登山技術ハンドブック(夏季)』

国際山岳連盟(UIAA)が登山の世界スタンダードとして発行している技術書。発行は「日本山岳・スポーツクライミング協会」ですが、日本勤労者山岳連盟も全面的に協力し、翻訳者は 全国労山の国際部長・大和田英子理事です。

◎価格:2200 円(送料・税込)

◎振込先:郵便振替口座00160-1-152812

名義=日本勤労者山岳連盟中央登山学校

銀行名=ゆうちょ銀行、

支店名=〇一九(ゼロイチキュウ)

預金種目=当座預金 口座番号=0152812

※振込日とお届け先の郵便番号・住所・氏名・電話番号を

jwaf@jwaf.jp までメールでお知らせください。





北海道勤労者山岳連盟 60 周年記念行事を 終えて 北海道連盟副会長 辰巳勲

2023 年度に北海道勤労者山岳連盟 60 周年記念を迎えるに事になり、それを記念して記念式典、記念祝賀会、記念登山会を道東地区主催で行うことになりました。北海道連盟とは、札幌近郊を中心とした道央連盟、旭川地区を中心とした道北連盟そして、釧路、帯広、北見を中心とした道東連盟、この3連盟の連携機関です。ほとんどの行事を道央連盟が中心に行ってきました。一昨年に北海道連盟会長から「60 周年記念行事は道東中心に行ってほしい」との事で今回の記念行事の運営を担う事になりました。

何処で何をどの様に…と半年前から皆で話し合いを重ねて9月 23 日に日高山脈の麓中札内村上札内交流館にて記念講演会、記念式典、祝賀会、交流会を開催しました。翌 24 日に十勝幌尻岳で登山会を行いました。講演会は来期に国立公園化が決定した日高山脈について環境省帯広自然保護官事務所・自然保護官の山北育実氏に話してもらい、一般も含めて 100 名程が来場した。式典と祝賀会は全国連盟浦添嘉徳会長はじめ労山の仲間と楽しく過ごし、帯広労山会員の手作りの食事や催し物、帯広労山会長の獅子舞披露もあり夜遅くまで語らいました。

翌日は秋晴れの中、十勝幌尻岳へ総勢 50 名ほどで登山をしました。山頂では全員の集合写真を、チューバーである会員の操縦するドローンで撮影し、とても思い出深いものになりました。

この二日間の準備には場所の選定など苦労が多かったですが(喧嘩などもしました)、会員達の得意分野を集約してなんとか良い形になったと思っています。貴重な機会を与えてくれた事と参加して笑顔で過ごしてくれた皆さんに感謝します。

最後に 20 年以上帯広労山の会長を務めてきた大谷享氏がこの秋に突然ご逝去した事を報告し冥福を祈ります。道東連盟は 100 名もいない小さな連盟ですが少ない人数だからできる顔の見える繋がりを大事にして北海道の端っこから元気を届けていきたいと思えます。

感銘うけた「平和と登山」の浦添会長あいさつ 池正儀(北見勤労者山岳会)

私は体の具合の都合で初日(9/23)だけ参加し、全国連盟・浦添嘉徳会長の祝辞とあいさつを聞いて、感銘を受けました。祝辞といえば、お定まりの内容に終始することが多いなか、浦添会長は労山設立の経過や存在意義だけでなく、現在のウクライナ問題にも言及して、労山の理念である「平和と登山」について、話をされました。私は体の不具合でなかなか山行ができていないなか、北見市の自宅から 200 キロもある十勝・中札内村での式典に行くのを躊躇していましたが、参加して本当に良かったと思っています。また、帯広・釧路・北見の道東地区連盟がこの祝賀会を主管し、当日の手伝いをする中で、顔見知りになった方もできました。これからも、交流を深めたいものです。

▲ 部・局・専門委員会の活動

■ 遭難対策部

加齢による体力低下を意識した登山を

10月31日までに届いた事故一報は、30件30名。今月の事故原因は、転倒が17名。転・滑落が5名。虫・動植物が2名。病気と体勢が各1名。その他が4名。転倒事故は、17名で全事故者の約6割。今月は、手首の骨折が8件あり6件が女性だった。登山形態は、無雪期が22名。登攀が3名。室内ジムが1名。沢登りが4名。下山中の事故は15件、内11件が転倒事故。加齢による様々な行動体力の低下で著しく低下するのは、バランス能力と言われており、20代を100%とすると60代では20%に下がるとのデータが公開されている。同時に脚筋力の低下により体重の支持能力が落ちる、柔軟性の低下により動作がぎこちなくなる、俊敏性の衰えによりバランスを崩しても体勢を立て直せない、等である。さらには視力や反射時間の低下、注意力の低下など、脳神経系の機能低下も関わってくる。高齢になれば登山の能力にも明らかに影響が出てくる。加齢により体力の低下に抵抗するのであれば、それなりのトレーニングが必要であり、各自が工夫をしながら取り組むことが重要になってくるので「量よりも質を高める」「時間よりも運動強度が重要」さらに「多彩な運動をすること」も要点である。

(遭難対策部長・石川昌)

■ 海外委員会

海外集会開催に向けての話し合いがされた

主な議題として海外集会の開催が上がった。以前は海外登山集会と言う名称であったが登山の部分を変えて海外山行交流集会にしてはどうかと言う意見があり委員一致で決まった。○会場については都内開催(連盟事務所使用)であれば安価で済む、来年度

からの開催に向けて予算も含め理事会に諮れるよう準備を進めていく。集会での報告は全国連盟にあげられた計画書を参考に募っていく。○高所登山調査用紙に協力をお願いする、各項目に関してはほぼ固まったが次回以降の委員会で確認する。○全国理事以外の委員活動費、集会開催に向けての予算等理事会に諮れるよう計上する。以上の事などが話し合われた。

(海外委員・清野芳樹)

■ 労山基金運営委員会

労山山岳事故対策基金の歴史と現在

11月8日基金オンライン説明会が129名の参加で開かれた。ここで基金について簡単に説明したい。1971年関東ブロック遭難対策基金として200名足らずで発足、1974年全国制度として発足、加入者の増加とともに内容を改善、2006年保険業法が改定され、自主共済も保険会社の運営方式が求められることになったため、2009年に前払い共済方式から後払い寄付金方式の「新特別基金」として再スタートした。2014年にドアツードアの廃止、2015年に交付の特典の5要件を細則に明示するなどの改定を行なった。2018年には「新特別基金」から「労山山岳事故対策基金(略称:労山基金)」と名称変更した。遭難という大事だけでなく、滑落・転倒などの山行中の事故もできるだけ救済していきたいという意味が込められている。

実際に基金の交付金額を事故別にみてみよう。2022年の実績では、救助捜索交付金額が全体の4%、入通院交付は56% 死亡交付は27%となっている。現在、国内の救助捜索は警察、消防などの公共の捜索機関が実施しているので、費用はほとんどかからない。労山基金はこれからも加入者の安全、安心な山行のプラスになるよう努力したいと考えている。

(労山基金運営委員長・臼井邦徳)



降雪があった雨飾山

10月4日から10月31日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	9.16	群馬	68	男	瑞牆山	無雪期	転倒	テント設営時に足を滑らせ左手首から転倒した。	左手首骨折
2	9.16	東京	62	女	本谷山	沢登り	滑落	下降中、灌木に体重を掛けた際に手足を滑らせ沢どこへ滑落した。	右足複雑骨折
3	9.10	鹿児島	51	女	長江川	沢登り	転倒	遡行中、足を滑らせ膝を捻って転倒した。	ペーカー嚢腫
4	9.15	石川	51	男	烏帽子岳	無雪期	転倒	下りの登山道で足を滑らせバランスを崩して転倒した。	右手薬指突き指
5	9.23	兵庫	51	女	神崎川本流	沢登り	転倒	遡行中、転倒し手首と肘を強打した。	左橈骨遠位端開放骨折
6	9.24	岡山	68	男	仙人山	無雪期	転倒	登山道に出ている木の根に足を滑らせ後ろ向きに転倒した。	左足関節脱臼骨折
7	10.03	東京	68	女	秋田駒ヶ岳	無雪期	転倒	雨で濡れていた木道で滑って尻もちをついた。	第一頸椎圧迫骨折
8	10.07	福岡	47	女	鉾岳	無雪期	その他	ドローンをキャッチしようとしてプロペラに顔を当てる。	唇裂傷
9	10.08	神奈川	60	女	御嶽山	無雪期	転倒	下山中、濡れた木道で滑って左足が外側に曲がった。	左足腓骨遠位骨折
10	9.22	東京	56	女	室内ジム	人工壁	転落	ボルダリングでトップ付近から転落した。	左手首橈骨遠位端骨折
11	9.30	群馬	74	女	四阿山	無雪期	病気	下山中、真つすぐ歩けなかった。下山後診察したところ脳梗塞だった。	脳梗塞
12	10.01	埼玉	58	女	金勝山	無雪期	滑落	下山中、木の根に足を取られバランスを崩し斜面を6m転落した。	右手首骨折
13	10.07	道央	60	男	福島丸山	無雪期	体勢	足を滑らせ手でロープを掴んだが中指と小指を痛めた。	指の腱損傷
14	10.08	兵庫	63	男	にゅう	無雪期	転倒	登山道で岩と木が張り出して木の根で滑り転倒した。	右肋骨ひび
15	10.08	栃木	67	女	権現岳	無雪期	滑落	下山中、3m程の岩場で滑落した。	右足首骨折
16	9.16	福岡	55	男	八面山	登攀	その他	クライミング中、右足に乗り込んだ際に右膝の痛みが出た。	右膝半月板損傷
17	9.27	福岡	63	男	大船山	無雪期	転倒	下山中、苔むしたところで転倒した。	右手中指剥離骨折
18	9.30	滋賀	62	女	長等山	無雪期	虫・動	登山道で蜂に刺された。	蜂刺され傷
19	10.07	山梨	65	女	茶臼岳	無雪期	転倒	下山中、峠の茶屋への下りで躓き転倒した。	前歯脱臼
20	10.09	兵庫	76	女	栗駒山	無雪期	転倒	下山中、レストハウス前にて濡れた草の上で滑って転倒した。	右足関節外踝剥離骨折
21	10.10	兵庫	73	女	地蔵岳	無雪期	転倒	下山中、熊野岳トラバース道で木道で滑り転倒した。	左橈骨遠位端骨折
22	10.14	埼玉	67	女	三本槍岳	無雪期	転倒	下山中、雨でぬかるんでいた登山道の階段で滑った。	左手橈骨骨折
23	9.23	静岡	56	男	北岳	登攀	転倒	Dガリー大滝の下見の帰りにバランスを崩して転倒した。	切傷
24	10.02	道央	46	女	小樽赤岩	登攀	転落	体重をかけ立ち上がろうとした右手のホールドが剥がれて転落した。	肋骨の骨折
25	10.02	埼玉	65	男	三俣蓮華岳	無雪期	その他	急登の連続で下肢に痛みが発生した。	左外側広筋挫傷
26	10.15	愛知	62	女	三上山	無雪期	その他	下山中、膝が不安定で違和感があった。	膝の捻挫
27	10.17	静岡	79	男	黒岳	無雪期	転落	急登でバランスを失い2m程転落した。	第一腰椎圧迫骨折
28	10.11	京都	69	男	愛宕山	無雪期	虫・動	蜂により刺される。その場で処置し病院を受診した。	腕・肩・頭の蜂刺傷
29	10.11	道央	76	女	焼石山	無雪期	転倒	下山中、流水で岩が露出して50cm程の段差で転倒。	右手首橈骨骨折
30	10.13	東京	45	男	本谷山	沢登り	その他	救助要請のため移動し、救助要請後に長時間行動でビバークした。	無傷

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	0	1	3	7	1	0	0	12
女性	0	0	2	4	8	4	0	0	18
合計	0	0	3	7	15	5	0	0	30

形態	無雪期	海外登山	沢登り	山スキー	冬季登攀	登攀	人工壁	訓練	合計
男性	9	0	1	0	0	2	0	0	12
女性	13	0	3	0	0	1	1	0	18
合計	22	0	4	0	0	3	1	0	30

原因	墜落	転落	滑落	転倒	虫・動植物	体勢	病気	その他	合計
男性	0	1	0	6	1	1	0	3	12
女性	0	2	3	9	1	0	1	2	18
合計	0	3	3	15	2	1	1	5	30

傷病	骨折	捻挫	打撲	裂傷	脱臼	刺咬傷	損傷	その他	合計
男性	5	0	0	1	0	1	2	3	12
女性	12	1	0	1	1	1	0	2	18
合計	17	1	0	2	1	2	2	5	30

労山基金 2023年10月交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	入院日数
1	東京都	50代女性 5口	2022/07/17 13時50分頃	丹沢・道志 箱根屋沢 標高676m付近 F8 人工登攀15m滝	沢登り	転・滑落	箱根屋沢の人工登攀の15m滝を左岸から事故者は単独で高巻き。滝の落ち口とほぼ同じ高さから落ち口ヘトラバース中に滑り滝下まで滑落死亡。	死亡	
2	神奈川県	40代女性 10口	2022/10/09 08時00分頃	東北その他 虎毛山 赤湯又沢 570m付近	沢登り	転倒	赤湯又沢を虎毛沢出合に向かって下降している際、滑りのある石を右足で踏んでしまい転倒。その際足首を捻り骨折してしまった。	右コムラ骨遠位端骨折	通院33日
3	福岡県	70代女性 5口	2022/10/30 12時10分頃	九州・沖縄その他 足立山 北九州市小倉北区	無雪期登山	転倒	足立山から下山途中、階段状の急坂ですべて転倒、右肩が階段にひっかかり強く打った。	右肩外傷性腱板損傷	通院41日 入院41日
4	京都府	60代女性 3口	2022/10/30 14時00分頃	近畿地方その他 岩籠山 標高400メートルくらい、下山近く	無雪期登山	転倒	転倒して膝を打つ。膝痛と腫れる。歩行困難。自力下山したが帰宅中の車中で痛みが出た。	膝痛・右脛骨高位骨折 (合併症で循環器科にて治療 右下膝深部静脈血栓症)	通院18日
5	埼玉県	60代男性 10口	2022/11/27 10時45分頃	奥多摩・高尾・陣馬 大岳山 つづら岩	登攀	転・滑落	つづら岩東面でアイゼントレーニング用のトップロープを準備しようとしたが、正面壁は残置ハーケン等が少なかったため、壁の側面から1段あがり登攀出来る場所を探した時に体勢が崩れ転落したもの。	左手薬指、小指の裂傷・小指脱臼	通院50日
6	神奈川県	40代女性 10口	2022/12/19 20時30分頃	アーバンベースキャンプ 新宿	人工壁	転・滑落	(ボルダリングジム) マット着地時、左膝を内側に捻った	左膝前十字靭帯断裂、 左膝内側半月板断裂	通院50日 入院3日
7	東京都	50代女性 5口	2023/01/22 10時00分頃	谷川連峰・巻機山・武尊・ 荒沢岳 茂倉岳 登山口への下山途中	積雪期登山	転倒	下山中、雪の深みにはまった際、右膝を内側に瞬間的に強く捻り(ビキッと音がした)、右内側副靭帯を傷めた。	右内側副靭帯損傷	通院10日
8	京都府	60代女性 3口	2023/04/09 11時30分頃	近畿地方その他 堂満岳 八雲ヶ原	無雪期登山	虫・動植物	八雲ヶ原で休んだときマダニに噛まれたらしい。気づいたのは帰宅後。受診して除去してもらい、内服薬処方される。一週間後再診予定です。	マダニ噛まれ	通院2日
9	兵庫県	60代女性 4口	2023/04/16 10時05分頃	近畿地方その他 中山最高峰 万願寺西山を通過した先の 下り道	無雪期登山	転倒	尾根筋に入り下り坂になった場所で道幅も狭く、前日に雨も降った後で日陰の岩は湿っぽい状況だった。「ゆっくり、慎重に」と声を掛け、スピードを落とし、歩いていたが、滑って転倒、右足首をひねった。	右足首骨折	通院11日
10	愛知県	60代女性 5口	2023/04/13 10時30分頃	近畿地方その他 蕪山 奥牧谷を1キ口進んだ 小滝を高まくへつり道	無雪期登山	転・滑落	2023.4.13Am9:40登山開始 10:30奥牧谷近くの右谷側のへつり道で、約2m程滑落し左足首を痛めた。単独歩行は難しい状態のため他メンバーの協力を得て歩行下山。下山後医療機関受診。	左足首挫傷	通院8日
11	大阪府	50代女性 10口	2023/04/23 14時00分頃	鈴鹿山系 御在所岳 三重郡菟野町菟野	登攀	転・滑落	御在所岳前尾根を3人パーティーでアルパインクライミング中P2(檜)にて事故者がリードクライミングしていた所に落下した。支点のカムが抜けてフォールしたが、その下の残地ハーケンにてストップ、落下の際に右足首を負傷。痛み有そのままロアードアウン。足首の痛みにて歩行は困難であったが、テーピングや三角巾固定にてなんとか歩ける状況であったため、そのまま頂上方面に登りロープウェイにて下山した。	右足首関節捻挫	通院4日
12	兵庫県	60代女性 3口	2023/05/20 13時30分頃	近畿地方その他 中山 参道	無雪期登山	転倒	下山途中(後5分で解散地)のコンクリート階段(濡れている)でスリップ手を着いた時左手首を骨折した。	左橈骨遠位端骨折	通院17日
13	兵庫県	50代女性 5口	2023/05/20 13時00分頃	六甲・金剛・和泉山系 六甲山 座頭谷	無雪期登山	転倒	高さ70センチ程度の岩場に乗った際に足元の岩がもろくて崩れ、転落し転倒した。	鎖骨遠位端骨折及び肋骨骨折	通院4日 入院5日

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	入院日数
14	道央地区	60代男性 5口	2023/06/18 14時00分頃	北海道その他 赤岩青巖峽橋 下河原ボルダリングエリア	登攀	転・滑落	ボルダリング実施中、トラバースする課題の中間部で手が滑り転落。マットは使用していたが、マットとマットの隙間に落下し、腰部から座骨部を岩に強打した。安静にしていた後、何とか歩行できたので自力下山。自力帰宅した。	座骨骨折および座骨神経損傷	通院10日
15	道央地区	60代女性 2口	2023/06/18 14時30分頃	北海道その他 北海道駒ヶ岳 赤井川コース九合目の下 (標高750m付近)	無雪期登山	転倒	道央連盟一斉のクリーンハイクとして、前記コース沿いと頂上直下「馬ノ背」周辺でごみ拾いを行った。下山途中、九合目を少し過ぎた登山道で足を滑らせて転倒し、右足首を捻った。同行メンバーが足首テーピング固定の処置を施して別メンバーがザックを背負い、事故者は空身の自力歩行で下山した。翌日に受診し、下記の傷病と診断された。	右足関節外果骨折	通院5日 入院11日
16	埼玉県	60代女性 5口	2023/06/24 13時00分頃	北海道その他 利尻山 9合目付近	無雪期登山	転倒	利尻山下山時、9合目付近のガレ場で土を踏んでしまい、前方に転倒し右足を強打した。痛みがあり腫れと内出血が酷い。	右下腿部打撲・右下腿皮下血腫・右下腿コンパートメント症候群	通院6日
17	埼玉県	60代女性 3口	2023/06/24 13時00分頃	北海道その他 利尻山 9合目付近	無雪期登山	転・滑落	縦列で利尻山下山時、一番先頭のメンバーが転倒。肩から上が登山道からはずれ滑落するかに見え、すぐ後ろを歩く二番手メンバーが一番手の滑落を止めようと一番手に覆い転倒。二人が共に滑落すると思い、一步踏み出す自分が高い所にいたため、一步が覆って転倒したメンバーに引っ掛かり二人を飛び越え登山道から60cm程下に一回転しておおむけ。	右上腕部挫傷(上部)	通院14日
18	東京都	50代男性 1口	2023/07/03 12時10分頃	尾瀬・南会津 至仏山 山頂	無雪期登山	転倒	山頂より周囲の景色を撮影中にバランスを崩して転倒し、顔前面(あご)より地面に転倒。1~2分間意識を失い、同行者が応急手当で止血し、自力で下山。翌日、形成外科、歯科を受診し右顎関節にヒビの可能性があるが経過観察との診断。	顔面裂傷、あご関節ヒビの疑い、顔面あご。	通院2日
19	道央地区	60代女性 1口	2023/07/08 11時00分頃	大雪山系 緑岳 山頂	無雪期登山	転倒	山頂で石に躓きバランスを崩し前にある石に額をぶつけて出血した。	創傷処理・額右側	通院2日
20	石川県	60代女性 3口	2023/07/18 11時40分頃	白山系 蟹ノ目山 山頂付近	無雪期登山	虫・動植物	11時40分頃、山頂で登山靴にマダニ1匹が付いていた。身体を確認すると右側脇下にマダニ1匹を発見する。常備薬のムヒアルファを塗布し抗生剤投与して下山。直ちに皮膚科受診、生検する。	右側背部マダニ症	通院5日
21	群馬県	50代女性 5口	2023/07/18 12時30分頃	那須・日光・足尾・常陸 前白根山 五色山へ向かい始めの下り	無雪期登山	転倒	下山開始後10分くらい歩いたところで滑って転倒し右足首捻挫、くるぶしにヒビが入ってしまった。	右足外果骨折	通院31日
22	福岡県	60代男性 5口	2023/07/22 11時00分頃	九州・沖縄その他 三郡山内住峽 内住峽の沢、中流域	沢登り	転・滑落	滝を登る途中で落ちてきた先行者を、下で待っていた事故者が受け止めた際、踏ん張った右足の腿を痛めた。	前脛骨筋腱炎(右足首)	通院3日
23	兵庫県	60代男性 3口	2023/07/08 13時30分頃	六甲・金剛・和泉山系 六甲最高峰 布引滝雄滝に下りる階段	無雪期登山	転倒	石段で滑り尻餅をつく。左足甲付近が痛くなった。歩ける状態であったが、翌日痛みが増したので病院に行った。	左足甲骨折	通院3日
24	広島県	40代男性 5口	2023/08/05 10時45分頃	中国・四国その他 三倉岳 源助Ⅱ峰おまけクラック	登攀	転・滑落	おまけクラック5.10dをリードで登っている時に、上部2か所でカムをセットしていたが途中で登れなくなった為、カムで一度レストする。再び登り始めるが手がめぐる為「降ります、テンション」と発してクライムダウンでは無くホールした瞬間にカム2本が外れた。ボルトで止まったが、地面上の岩にお尻を強打した。グラウンド寸前であった。	骨盤骨折、左手中指骨折	通院2日 入院23日
25	群馬県	70代男性 3口	2023/08/07 06時00分頃	尾瀬・南会津 会津駒ヶ岳 中門岳へ向かう一般登山道 (木道を移動中)	無雪期登山	転倒	木道(平坦路)の草葉に隠れた下り傾斜の一部を見落とし朝露に濡れた板面で滑り転倒しました。空いていた右手首をひねる状態で着地かとおもわれます。	右橈骨遠位端官骨折	通院9日
26	石川県	60代女性 3口	2023/08/05 16時15分頃	北ア 後立山連峰 高天原山荘付近 高天原温泉露天風呂手前	無雪期登山	転倒	一人で露天風呂に向かい温泉手前の登山道で躓き前方へ転倒し、前頭部を裂傷した。(他のメンバーは先に露天風呂に行き入浴中)自力で小屋に戻り助けを求めた。宿泊者に看護師がいて応急処置をしてもらう。またメンバーにも看護師がいて全員交代で止血のため患部圧迫を行った。翌日早朝富山県警ヘリにて富大病院に搬送、処置(患部40針縫う)治療検査後、自宅に帰ることができた。	頭頂部裂傷	通院11日

※口数等：(団=団体口数、(個=個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ)

※交付特典：①一般登山道、②標高2000メートル以下、③標準コースタイム5時間以内、④日帰りの要件に該当するもの、⑤岩場・沢・雪山・海外は含まない、場合は定められた交付率の3倍を交付します。

ただし、通常交付の10口分を交付の上限額とします。(労山基金規定・細則-3)

▲ 全国連盟の活動のご案内

2023年11月	2023年12月の予定
11/1 遭難対策部会、07 機関誌編集委員会、同日 山岳7団体自然環境連絡会、14 三役会議、同日 ホームページ委員会、同日 自然保護委員会、同日 海外委員会、16 組織部会、18 宮城県勤労者山岳連盟創立50周年記念行事(宮城県仙台市)、23 第21回 拡大理事会、24 労山趣意書検討委員会、25 青森県勤労者山岳連盟創立50周年行事(青森県青森市)、28 労山基金運営委員会、30 ココヘリ TAKAO レセプション(東京都八王子市高尾町)	05 登山と山岳文化の教養講座(合評会)、06 遭難対策部会、07 組織部会、09 全国雪崩講習会・講師会議、同日 日本ヒマラヤ協会・華甲忘年会(東京 主婦会館・プラザエフ)、12 三役会議、同日 新日本スポーツ連盟との定期協議(新スポ事務所)、19 第2回役員選考委員会、21 第22 回理事会、26 労山基金運営委員会

■ 栄誉功労章の申請受付中

日本勤労者山岳連盟「標章および表彰に関する規定」により、2024年2月に開催される第36回総会において、右の条件に該当する会員について栄誉功労章が贈られます。所定の方法にて全国事務局へ申請ください。

- ◇ 申請締切:2023年12月31日
- ◇ 申請の詳細はホームページをご覧ください。

★**栄誉功労章**: 労山運動の前進に功績のあった会員。発議者は各地方連盟の代表者。その地方連盟組織人員300名につき1名以内

★**永年会員章**: 労山会員として20年以上在籍し、かつ現在においても会員。該当する会員の所属団体の代表者からの申請



2024年 JWAF CALENDE 販売中

労山オリジナルのカレンダー
会員が撮影した山の写真が13点！
選考はフォトグラファーの小松由佳氏

11月の写真:「雪山歩き始め」立山・室堂
林弘幸/須磨勤労者山岳会

2024 11							12	1
月	火	水	木	金	土	日	2	3
28	29	30	31	1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	1	2	3

日本勤労者山岳連盟
JWAF JOURNAL EDITORIAL BOARD

会員は所属会を通じてお申し込みください。

★会専用申込フォーム:

<https://ws.formzu.net/fgen/S55522249/>

★申込FAX:03-3235-4324

FAXには、①地方連盟または会・クラブ名 ②氏名 ③ご住所 ④電話番号 ⑤注文部数 を明記してください。
☆一般販売(1部1,000円+送料)の詳細はホームページにてご案内しています。



仕様: 壁掛けタイプ、364mm×515mm、B4中綴じ、28ページ、月曜はじまり